

(日本語見出し)

奥井 恒さん（博士後期課程 2 年）が
2019 年秋季大会 日本物理学会学生優秀発表賞
を受賞しました。

(詳細内容)

2019 年 9 月 17 日から 2019 年 9 月 20 日にかけて山形大学小白川キャンパスにて行われた 2019 年秋季大会日本物理学会にて、自然科学研究科博士後期課程 2 年の奥井 恒さんが学生優秀発表賞を受賞しました。

奥井君は、重力波による右巻きニュートリノの新たな検証方法について提唱しました。右巻きニュートリノは、ニュートリノ質量の存在を説明するために導入される新粒子です。初期宇宙における右巻きニュートリノの崩壊は、付加的なエントロピーを生成することがあります。その場合、宇宙の熱史を変更し、インフレーションが起源となる重力波スペクトルに現れることとなります。奥井君の今後の活躍が期待されます。

2019 年秋季大会 日本物理学会学生優秀発表賞 奥井 恒さん

講演タイトル

「初期宇宙における右巻きニュートリノの崩壊によるエントロピー生成と原始
重力波」

日本物理学会 HP :

[https://www.jps.or.jp/activities/awards/gakusei/2019_student_presentation_aw
ard.php](https://www.jps.or.jp/activities/awards/gakusei/2019_student_presentation_award.php)